

「正解のない社会を自ら生き抜く力をもつ生徒の育成」

根輝 ～苦難乗り越え さらなる高みへ～ プロジェクト

柳井市立柳井南中学校 PTA

1 学校地域の概要

PTA 会長 向 川 洋 治
 学校長 秋 田 和 美
 生徒数 45名 柳井南中学校 HP
 会員数 53名 (保護者 42 教職員 11)
 所在地 〒 742-1352
 柳井市伊保庄 3 4 8 5 番地 1
 TEL 0820-22-0842
 FAX 0820-22-2013



中央の十字は、柳井南中学校のシンボルともいえる「南十字星」であり、十字を形作っているのは柳井の「柳」の葉になっている。これで「柳井南」を表している。十字をつなぐ輪は校訓の一つである「親和」に通じている。



校章にあしらわれている「サザンクロス（南十字星）」の頭文字「S」をベースに、「鳥海の波」を表した体。生徒皆の成長を見守るための「柳の葉」の羽。生徒の活躍を見るたびに、歓喜で輝くほっぺの「南十字星」。

この素晴らしい環境の中で、南中生徒が成長し、夢と希望に満ちた未来へ巣立ってほしいという願いを込め、生徒自らの手で作られた。また、美しい海に臨む柳井南中を想起させる「ミナ（ミ）」という響きと、生徒「皆」の成長を願う意味を込め、名付けられた。

2 PTA 組織及び活動内容

部	総務部	文化部	保体・教導部	
役員	○会長 副会長 副会長	○文化部長 文化部員	○保体・教導部長 保体・教導部員	
教職員	校長 教頭 事務職員	研修主任 教員	教務主任 教員	生徒指導主任 教員
活動内容	○PTA諸活動の総合的企画運営 ○他団体との連絡調整 ○家庭教育の企画・立案・推進 ○PTA財政関係審議調整 ○その他	○文化祭の参加及び協力 ○会員の研修企画と運営助成 ○その他	○学校保健委員会の推進 ○体育祭への参加 ○その他	○交通安全指導の徹底（テスト週間中の火・木） 1名 7:40～7:55 場所：校門前 ○環境整備、浄化活動の推進 ○夏休み親子作業 ○その他

3 研究テーマについて

本校は、平成32年4月から柳井中学校と統合することが決定している。そのため、在校生や入学生が寂しい思いをするのではなく、より一層保護者や地域の方との連携を密にして、新しい発想で学校行事を創っていくこととした。

そこで、今年度の教育目標を「正解のない社会を自ら生き抜く力をもつ生徒の育成」と掲げ、逆境に負けずに未来を切り拓き、どんな困難にでも立ち向かっていくたくましい生徒の育成をめざす。特に課題対応能力とキャリアプランニング能力を身に付ける方策を考察し展開していく。

4 活動内容

PTA 総務部会において、今年度の体育祭や文化祭の運営についていろいろなアイデアを出し合った。学校行事を変革していくためには、まずは教職員や保護者が柔軟な発想をもち、他者の意見を聞きながら展開していく必要がある。まずは、全面的に支援していただける学校運営協議会委員と熟議をし、PTA 総務部会・理事会を経た後に生徒主体の活動に展開していった。

(1) ユニット型研修の実施

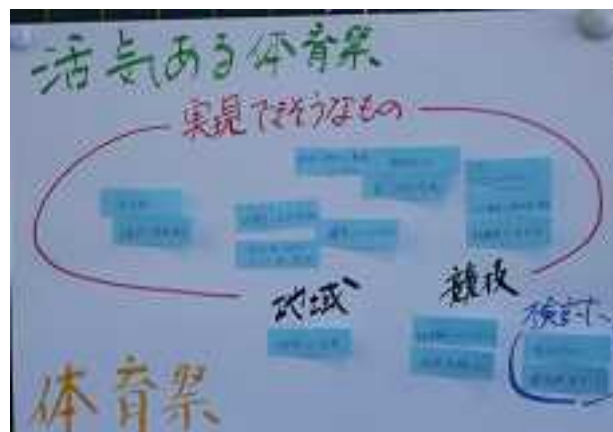
5月29日、学校行事の企画・運営について、「ワールド・カフェ方式」でワークショップを行った。6月に実施する「アマモ学習」、9、10月に実施する「体育祭」「文化祭」の3つの班に分かれてスタートした。第1ラウンドは、自由な発想からたくさん意見を述べ、少しずつ実現可能なものに絞り込



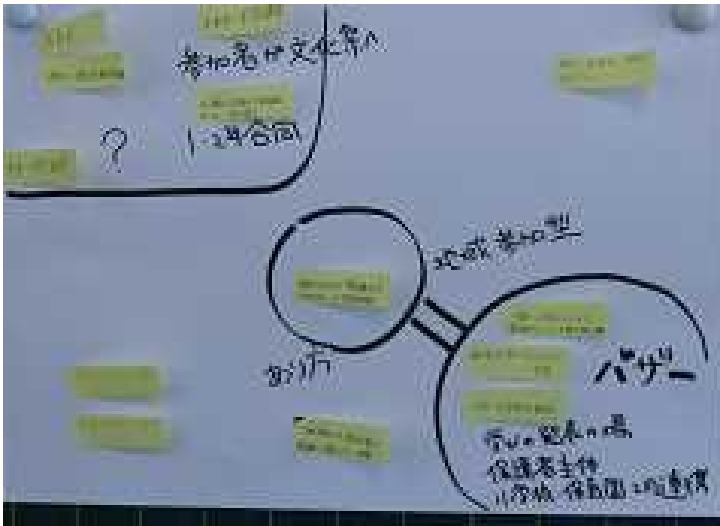
んだ。普段は学校業務に追われ、みんなでじっくり検討する時間がなかったが、この度、学校運営協議会委員さんと一緒に話し合うことができたので、中学教員の固定概念では思いつかないような発想があり、とても刺激的であった。また、ファシリテーターは、教員経験1、2年目の先生教員が担当し、ベテランの教員がしっかりフォローし若手人材育成の機会として、OJTにもつなげることができた。最後の発表では、3人とも周りの意見をよく聞き、簡潔にわかりやすくまとめていた。今回、情報収集するアンテナの感度が高まったため、さらに幅広い分野から知恵を集めることができる。次回の熟議が楽しみで、よりよい学校行事の運営になっていくと思われた。



「若手教員による説明と真剣なまなざし」



「少人数でも活気ある体育祭にするために」



「地域参加型の文化祭にするために」



「根輝学習」

*根輝学習・・・課題解決のためのステップアップ学習のことである。

(2) 根輝（こんき）学習への展開

生徒会スローガンとして、根輝 ～苦難乗り越えさらなる高みへ～ を掲げ、学校・家庭・地域が三位一体となって新しいことに挑戦することとした。この学習の目的を ①新たな学校行事を計画・立案することにより、正解のない社会を自ら生き抜く力を育てる。②行事の在り方を本番当日から逆算し、活動内容を考察することにより先を見通し目標や課題を設定する能力を身に付ける。と定め、段階的に学習内容が向上するように展開していった。

2回目 6/22（金） 総合的な学習

1回目 6/19（火） 総合的な学習

<p>①文化祭 南中フェスタの内容 生徒へ提案</p> <p>②班分け 文化祭班：3年25名 ○時程、内容の検討</p> <p>南中フェスタ班：1, 2年20名 ○内容の検討 ・発表会、バザー、イベント</p>	<p>③報告会の準備</p> <p>文化祭班：3年25名 ○発表のまとめ</p> <p>南中フェスタ班：1, 2年20名 ○発表のまとめ ・発表会 ・バザー ・イベント</p> <p>④報告会</p> <p>⑤保護者への提案</p>
---	--

発表係のアイデア

1/20 南中フェス H30.6.20

発表係

氏名: 齋藤 明心・園庭 奈村・山崎 幸真

×1.2月期 ← 2月期まで準備

- ①個人発表 (歌、音楽、劇、ダンス、特技、マジック)
- ②部活の紹介
- ③お楽しみクイズ
- ④お楽しみゲーム
- ⑤お楽しみプレゼント

1.2月期 → (PTAと協力して)

①お楽しみクイズ

②お楽しみゲーム

③お楽しみプレゼント



バザー係のアイデア

1/20 南中フェス H30.6.20

バザー係

氏名: 藤月 弘光・関本 崇原・森田 拓也・園庭 奈村

売り上げ係: 弘光 藤月 奈村 園庭 ← 5月10日までに

お金の係: 森田 藤月 崇原 拓也 ← バザーの準備

バザーの準備

販売時期: 5月10日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、19日、20日

販売品目: 手作りお菓子、手作りお花、手作りお物

販売場所: 体育館

販売時間: 10:00 ~ 18:00

販売料金: 500円 ~ 1000円



イベント係のアイデア

1/20 南中フェス H30.6.20

イベント係

氏名: 藤月 弘光・関本 崇原・森田 拓也・園庭 奈村

① じゃんけん大会

② ボーリング大会

③ テニス大会

④ バドミントン大会

⑤ テ卓大会

⑥ バレーボール大会

⑦ サッカー大会

⑧ 水泳大会

⑨ 陸上競技大会

⑩ 総合運動会



(3) 南中フェスタの日程及び役割分担

前日までは例年通り文化祭準備のため、生徒も教職員も大忙しであった。文化祭に全力投入し負担が大きくなるように、予行なしで最小限の打合せで当日を迎えた。そこで、学校とPTA 総務部との連携は、できるだけ一覧表へまとめ、文書と電話で連絡調整を行った。

10月20日(土) 名称:南中フェスタ

2018 10.03

目的	①物品販売を目的としたイベントを体験することで、将来の社会的・職業的自立の基盤となる資質・能力・態度の育成を図る。 ②柳井市近郊で生計を営んでいる人と協力し助け合うことで、ふるさとを愛し続ける心の育成を図る。					
活動内容	①生徒が保護者と共に、地域で行われている祭りやイベントの模擬体験をする。 ②普段の学校生活や文化祭に向けての練習風景を保護者や地域の方に披露する。					
日程	生徒の活動			保護者の動き		
	バザー係	発表係	イベント係	バザー係	発表係	イベント係
8:30 ~	テント・会場準備 (全学年)			テント準備 屋台村のイメージ		
9:50				会場準備		
10:00 ~		発表会進行		遊休品販売	発表会開始	
11:00 ~ 12:00		生徒 吹奏楽 上関 保育所 フラダンス		物販 野菜のみ	中学生 保育所 フラダンス 吹奏楽 上関	
11:00 ~	バザー				生徒・先生	
12:30		生徒・先生				
13:00 ~	販売手伝い					
14:00	終了					
14:00 ~ 14:30			ビンゴゲーム 中学生45名参加。賞品は10名。	後片付け		ビンゴゲーム 中学生45名参加。賞品は10名。
14:40 ~ 15:10	後片付け					
15:15 ~ 15:25	終学活	文化祭の準備				
15:35 ~ 15:45	下校	16:30まで				

PTA	文化部		総務部		物販 野菜のみ 希望があれば、場所を提供する。 学校運営協議会委員
	バザー	遊休品	発表	イベント	
	文化部長	副会長	会長	保体・教導部長	
	文化部員	同左	学校運営協議会委員	副会長	
		教務主任	校長	教頭	
		教員	事務職員	教員	
		教員			

10/21(日) 文化祭

総合文化部

看板

チラシ 地域へ配布する。

たい焼き(会長)

生徒の弁当(一種類)は、学校で注文する。

希望者、家族もOK

ふれあい学習講座

保護者も参加したい。

市役所 商工観光課:ヤイコンロ、テーブル、イス

会社:紅白幕

余田公民館:はっぴ(体育祭用)

青年部:ストライクアウト

(4) 活動の様子

生徒たちは6月から根輝学習を始め、南中フェスタの開催に向けて、「どんな内容にするか。出演者は誰にするか。生徒はどんな仕事をするのか。」など、職場体験学習で学んだことを元に、新しいことを創り上げることに挑戦した。

① 発表の部（1日目）

「2日目の文化祭では、時間的に発表が難しい個人の出し物を中心にする」と「生徒だけでなく地域で活躍されているグループに出演してもらいたい。」という意見でまとまった。

当日は、地域のグループ出演者を「おもてなしの心」でお迎えし、楽しんでいただいた。



ぶっつけ本番の司会進行でも、息はぴったり



3年生の熱唱に観客も一体となって盛り上げた。



柳井学園高校 ジャズ演奏



保育所園児による遊戯



高校生によるパフォーマンス



フラダンス



3年生有志と教員によるキレイのダンス

② イベントの部（1日目）

地域で行われている祭りのようにくじを引いたりゲームをしたりするという意見が出た。しかし、短時間で多くの人に参加し楽しめるのは、「ビンゴ大会であろう。」ということによってまとまった。また、賞品があると「大いに盛り上がる。」と予想した。

当日は、衣装を身につけハイテンションで進行を務め、ビンゴ大会を成功させた。



イベント係と会長によるビンゴ大会



豪華賞品（会長・校長・教頭賞）をゲット！

④ バザーの部（1日目）

PTA バザーのうどんや焼き肉井は、今年は体育館に隣接するように屋外で作り販売をした。また、新規にたい焼きや遊休品販売もあり、大盛況であった。バザー・遊休品販売での収益は、昨年度より大幅な増収だった。保護者・地域の皆様に感謝する一日であった。



生徒の手伝い及び販売風景

④ ふれあい学習講座（2日目）

地域の方を講師に迎えて、ふれあい学習講座を実施した。事前に興味関心のある講座を選択しているので、みんな真剣なまなざしで集中して取り組んでいた。大人になっても趣味として、やってみたいというきっかけになった。また、今年は保護者も参加することができた。



ハーバリウム



デコパージュ



ホタルかご



がりがりプロペラ

⑤ 文化祭（2日目）

3年生を主体とした実行委員会による文化祭が「Our Power of Smiling ～みんな笑顔を輝かせて～」のスローガンの元、盛大に開催された。お越しいただいた観客の方に喜んでもらえるように、みんなで知恵を出し合い、名演技を披露した。南中生全員の笑顔がとても輝いていた。



生徒会執行部によるオープニング



柳星太鼓



神明太鼓



素晴らしい歌声の全校合唱



3年劇「蝶 いつの日か、輝いて」



生徒会執行部によるエンディング

5 成果と課題

【成果】

- ・生徒のアイデアが生かされる機会があり、自主的・主体的に学習していた。
- ・当日の活動では、自ら躍動し会場の雰囲気盛り上げていた。
- ・来校される方に対して、「おもてなし」の精神をもち、笑顔でお迎えすることができた。
- ・職場体験学習の経験を生かして、製品を作ったり物品を販売したりする機会があった。
- ・根輝学習の目的を達成することができた。
- ・教職員は固定観念にとらわれず、新しいアイデアを出し合い生徒とともに創り上げていった。
- ・学校と保護者・学校運営協議会委員・地域の方と一体感をもつことができた。
- ・PTA バザーを土曜日に開催できたので、翌日の文化祭はゆっくりと参観でき好評であった。

【課題】

- ・今回が初の試みであり、保護者や地域の方へ対して、日程の変更や発表内容等の情報発信が遅かった。後日、周りの人から話を聞いて、「参観（協力）したかった。」という話があった。
- ・今後、学校を核としたまちづくりに発展するためにも、まだまだ地域の方の来場や協力があるといい。
- ・来年度は、さらに生徒が減り2日間開催の負担が大きくなる。保護者や地域の方の理解と協力を必要とする。南中フェスタの計画立案は生徒、当日の運営は、保護者や地域の方が行うなどの役割分担ができるとよい。